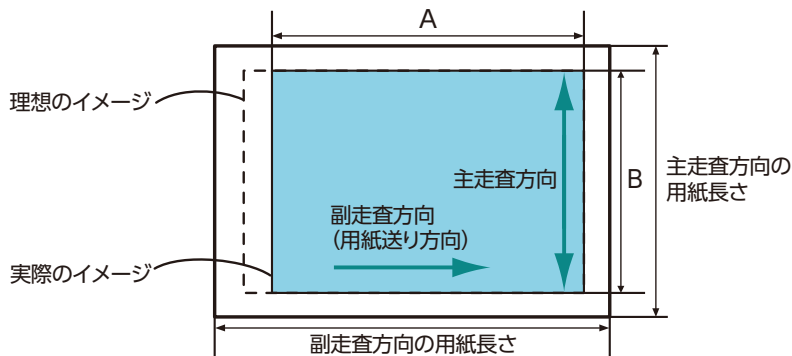


[X方向倍率] / [Y方向倍率] の調整

1. [X方向倍率] または [Y方向倍率] をタップします。
2. 調整量を現在の設定値に加えた値を、入力します (1ステップ = 0.025%)。

補足

- [X方向倍率]
調整量 (%) = (副走査方向の用紙長さ (mm) - 30 - A) ÷ (副走査方向の用紙長さ (mm) - 30) × 100
- [Y方向倍率]
調整量 (%) = (主走査方向の用紙長さ (mm) - 30 - B) ÷ (主走査方向の用紙長さ (mm) - 30) × 100



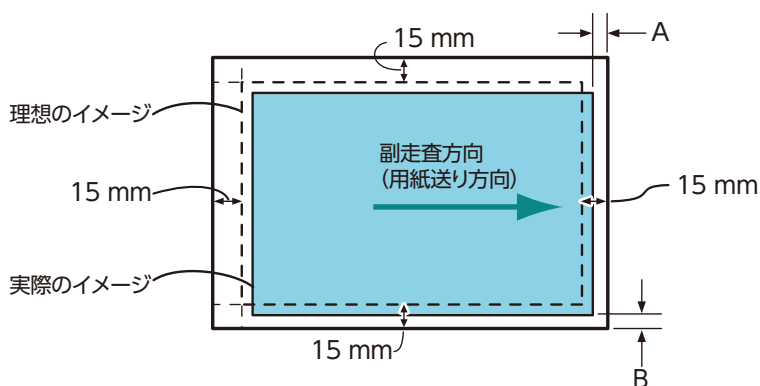
3. [OK] をタップします。

[X方向印字位置] / [Y方向印字位置] の調整

1. [X方向印字位置] または [Y方向印字位置] をタップします。
2. 調整量を現在の設定値に加えた値を、入力します (1ステップ = 0.1 mm)。

補足

- [X方向印字位置]
調整量 (mm) = 15 - A (mm)
- [Y方向印字位置]
調整量 (mm) = 15 - B (mm)




3. [OK] をタップします。

[面内ムラ調整]

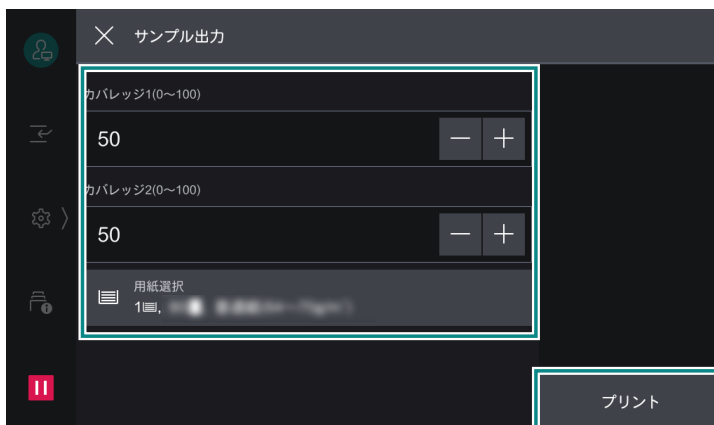
出カイメージの濃度ムラを手動で調整します。

1. 調整するトレイに、調整する用紙をセットします。
2. 機械管理者モードへログインします。

3.  > [設定] > [保守] > [画質調整] > [面内ムラ調整] をタップします。
4. [サンプル出力] をタップします。



5. 各項目を設定して、[プリント] をタップします。



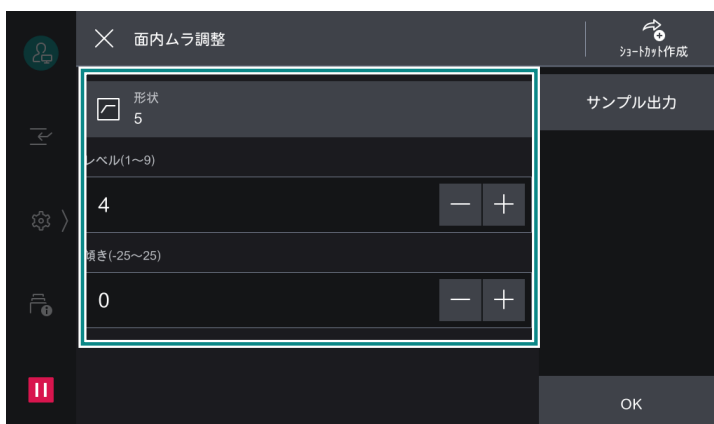
[カバレッジ 1] / [カバレッジ 2]

プリントサンプルにプリントする濃度を 2 種類設定できます。

[用紙選択]

手順 1 で用紙をセットしたトレイを選択します。

6. プリントサンプルを確認し、ムラが発生している場合は、濃度を調整します。



[形状]

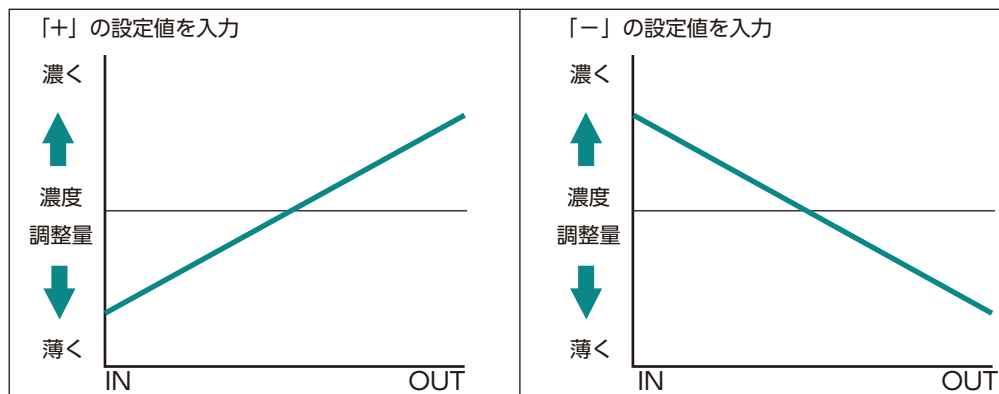
プリントサンプルへの濃度分布調整量を形状 1 ~ 6 のうちから選択します。

[レベル]

プリントサンプルの濃度差のレベルを1～6のうちから選択します。レベル1は調整量が無いことを表し、値が大きいほど調整量が多いことを表します。

[傾き]

プリントサンプルに対して、濃度分布を次のように調整します。調整量を-17～17の範囲で設定します。値が大きいほど調整量が多いことを表します。



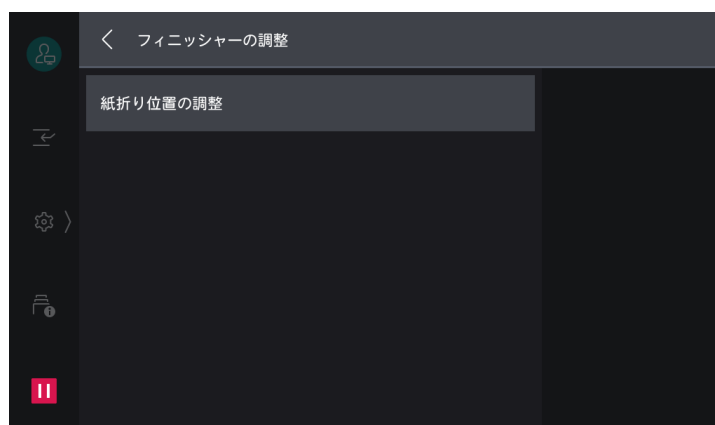
補足

- 濃度分布がこれらのパターンとは異なるときは、[形状]、[レベル] を使用して調整してください。

7. 調整後、再度 [サンプル出力] でプリントサンプルをプリントして、調整結果を確認します。

8. 正しく調整できたら、[OK] をタップします。

[フィニッシャーの調整]



補足

- 表示される項目は、機器の構成によって異なります。

項目	説明
[紙折り位置の調整]	用紙種類や枚数に応じた折り位置の調整値を登録できます。 補足 <ul style="list-style-type: none">[ショートカット作成] をタップすると、コントロールメニューの [ショートカット一覧] に本項目のショートカットを登録できます。一般ユーザーが本項目を調整できるように設定できます。[[その他の設定]] (P.92) で [一般ユーザーの調整機能操作] を [許可] に設定します。 参照 <ul style="list-style-type: none">詳しくは、[[紙折り位置の調整] のタイプの設定] (P.169) を参照してください。